

かよの平和行進ニュース

～原水爆禁止2005年国民平和行進特集～

NO. 36

2005/8/11 水島平和委員会

いつか会える日を楽しみみに…



晴れ 歩数・Kcal 測定なし

午前 9:30～15:00 テーマ別集会3 “核兵器のない世界を 草の根運動”

午後 16:30～18:30 平和委員会交流会

今日の私が参加した分科会には海外の代表が多く参加しており発言も多かった。問題提起をしてくれたのは立命館大学・平和ミュージアム館長の安齋育郎先生が手書きの資料を用いて行われた。「なぜなくならぬ?核兵器をなくす」をテーマに要

点をまとめてあり分かりやすいものだった。質問に対しても分かりやすい回答だったと思う。その後、アメリカ・ニュージーランド・インド・ポルトガル・キューバなどの代表が連帯の挨拶と報告を行った。非核神戸方式の注目度が高く、何人かの代表の発言の中に盛り込まれていた。世界の港が非核神戸方式を取り入れたならばアメリカは戦争が出来なくなるだろう、という後藤さんの言葉を思い出した。世界から評価されている9条や非核神戸方式を持つ日本の政府は郵政法案が否決され解散・選挙のことで頭がいっぱいになり国民の事を考えられずアジアの恥さらし状態になっていることに気が付いてない。

昼からはイラク・バスラから内科医と小児科医が発言した。長崎大学で研修中に来ているが、疫学を学びイラクでの調査に役立てるらしい。1991・2003年にイラクに200tもの劣化ウラン弾が使用され水・空気・食物が汚染された。現在11,000人以上が前例のない癌に侵されている。1割が子どもで劣化ウランが原因と考えられている。薬や電気、飲料水が不足しており支援を必要としている。子ども達に笑顔を取り戻してあげる為にも出来る事はしてあげたいと切実な訴えがあった。戦争がなければこのような状況にはならなかつただろう。あらゆる戦争に対して反対の運動を盛り上げていかなければならないと痛感した。この分科会では海外代表が積極的に発言する事があり、予定していた海外代表の2倍の発言数だった。国際会議みたいと思うくらいだった(国際会議には参加したことがないけど・・・)。国や所属団体が違うと問題に対しての着眼点が違い学ぶ事が多かった。

夜は後藤さん、梅川さん、山崎さんと岡山県平和委員会のメンバーと民商のお店で夕食を摂った。皆

とご飯を食べながら話しをしていると明日も行進があるという錯覚に陥るが、明日からは各県に戻って行くんだなあ～と思うと明日で役割も終わる安堵感と寂しい気持ちとが混ざって複雑な気持ち・・・(泣)でも今後の行動計画も立てたし再会する事を楽しみにして明日からも頑張ろう!と思う。岡山に帰って自分は何がしたいのか考えよう。

(裏へつづく...)



晴れ時々曇り 歩数・Kcal 測定なし
午前 10:30~13:00 閉会総会 参加者 5000名



今日で世界大会が終わった。閉会総会の議長は偶然にも全て女性だった。被爆者の証言から始まったが、前日に入院した山口仙二さんも壇上に上がり命を懸けた訴えが胸を打った。声に力は感じるが息切れが目立ち立ってられない様だった。かなり心配だ……。今日の総会で残念というか何で?という事があった。10時55分に黙祷はないだろ!と思ったのは私だけだろうか?黙祷をすればいいってもんでもないと思う。11時2分という時間の意味を考えて欲しいと思う。11時2分には会場内は海外代表が発言し、外では鐘やサイレンが鳴っていた。外にいた人たちは11時2分に黙祷を行ったそうだ。かなりショックだった。こんな事で・・・と言う人が居るかも知れないが、小さなではないと思う。11時2分に長崎に原爆が落とされ沢山の尊い命が奪われた、この時間の意味をもう一度考えるべきだと思う。失礼にも程がある!

3ヶ月の行進も8日間の世界大会も無事に終える事が出来ました。平和行進では各地域の人たちに大きな支えを貰いながら歩き通すことが出来たと思っています。言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。支えてくださった人たちに恥じない活動を続けて行きたいと思います。最後までこの日記を読んでくださった皆さん感謝します。すぐ岡山弁は出るし、汚い表現も多かったと思いますが楽しんで頂けましたでしょうか?今日でこの日記も終わりになりますが、明日からは自分自身の総括を行っていきたくと思います。その前に国外へ行って充電してきまあ~す!(笑)では皆さん、いつか会える日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

